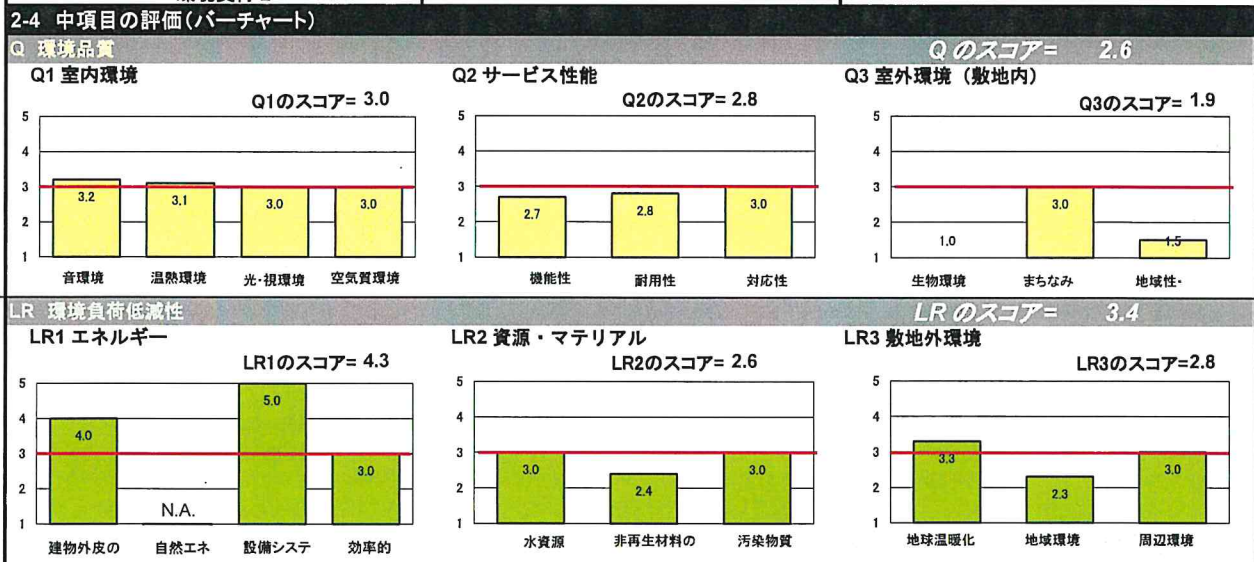


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市博多区博多駅東3丁目	階数	地上13階	
建設地	福岡市博多区博多駅東3丁目93番1	構造	RC造	
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2025年1月22日	
敷地面積	1,158 m ²	作成者	江藤 理恵	
建築面積	612 m ²	確認日		
延床面積	5,989 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 空気住環境、機能的な空間作り、敷地内環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。		
Q1 室内環境 全住戸サッシは複層ガラスを採用し、外壁、屋根、外気に面する床等には断熱処理を行い建物の断熱性を向上させた。 また居室の内装仕上材はF☆☆☆☆の建材を採用し、 LR1 エネルギー 共用部、住居部の主要な照明はLEDを採用した。	Q2 サービス性能 共用廊下、住戸内床の段差をなくし移動時の安全性を確保した。 LR2 資源・マテリアル 節水型の水栓や便器を採用することで、水資源保護に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周辺に空地を設け、採光・通風を確保した。 LR3 敷地外環境 道路に面した部分に植栽帯を設け、周辺環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される